校 長 室 だ よ り（No.9）

令和４年６月15日
丹波市立黒井小学校長
谷口　千尋

地域で働く人に関心を持つ（キャリア教育）

２年生は、自分たちの住む黒井にはいろいろな施設や様々な仕事があり、多くの人が働いていることに気付くために「まちたんけん」を行いました。

大切なキャリア教育のはじまり

自分が住んでいる町をもっとよく知り、大好きになるために子どもたちは黒井の町にとびだしていきます。この町探検では知りたいことを進んで見たり聞いたりし、途中で起こる様々な問題も自分たちで相談し、解決しながら学校に戻ってきます。このことから多くのことを学ぶことができると考えます。また、様々な体験を重ねていく中で子どもたちは、地域で働く人々や職業へ興味や関心をもつとともに見学する時のマナーや言葉遣いなどへの気配りも少しずつできるようになります。広がった世界で周囲の人とうまくコミュニケーションが取れるようになるとともに、子どもたち自身の職業への興味・関心をさらに深めることができます。このように２年生なりに働く人の生き方や仕事への理解へとつながる学習が「まちたんけん」です。

さらに、国語科や道徳、学級活動などの他教科等とも関連させ「まちたんけん」から様々な学びへと広げていきます。キャリア教育でよく言われる基礎的汎用的能力のコミュニケーション能力やキャリアプランニング能力の素地を養う大切な学習だと感じています。

６月13日（月曜日）は、最初の探検でもあり、保護者ボランティアの皆さんに助けていただきました。各グループに１名ないし２名のボランティアの方に付き添っていただき安全を確保しました。行き先は、黒井駐在所、黒井駅、ふじやホテル、パナソニック（工場）、いちご畑（喫茶店）等です。探検を通して、①グループの仲間と協力しながら、積極的に探検しようとする。②自分たちの住む黒井にあるいろいろないいところを見付けることができる。③マナーに気を付け、町の人たちとかかわりをもてるようにする。④いろいろな職業や施設があることに気付くことを目指しました。

特に、キャリア教育の観点から、「自分たちの町の様子や町で働く人々に興味をもち、仕事をしている様子を意欲的に見学することができる。」や「真剣に働く人々の姿から、働くこと（仕事）の楽しさ、苦労などを感じる。」ことを大切にしました。

町探検という体験の中では、子どもたちが自分で選択し、決定する場面がたくさんあります。また身近な環境の中での働く人々との出会いを通して職業への理解につながり、低学年なりの理解を図ることができます。ここで、キャリア教育の視点から意思決定能力、将来設計能力をはぐくむこともできます。

また、子どもたち個々の願いを実現するために、自分の思いや考えをはっきりさせたり、相手を意識した話し方を学んだりと、コミュニケーション能力を高めることにも適しています。自分たちで計画し行動することで、目的をしっかりもたせることができ、また、思わぬできごとに、自分たちで判断して行動する経験が、一人ひとりのたくましく生きるための自信にもなります。